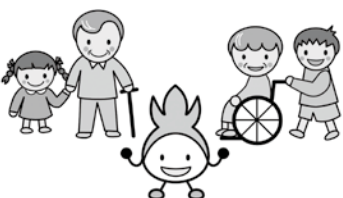


## 城南区

### ユニバーサル区役所推進事業

396万円

ユニバーサルデザインに配慮した区庁舎の整備や、シルバーコンシェルジュの導入など配慮を要する市民へ適切な対応ができる体制を確立し、ハード・ソフトの両面から窓口サービスを拡充します。



### 城南区健康長寿へのチャレンジ事業

36万円

民間運動施設等と連携し、壮年期を対象とした「筋トレ・ストレッチ等運動講座」を年間を通して開催し、生活習慣病、ロコモ予防等に効果のある「運動」のきっかけづくりと継続を支援し、『福岡100』を推進します。



## 早良区

### 「公民館を拠点とした地域包括ケアシステム」の推進

201万円

人生100年時代に向けて、地域、大学、団体、行政の共創により公民館講座や、認知症のドキュメンタリー映画上映、お口から始まる体の衰え(オーラルフレイル)予防などの取組みを推進します。



### 脊振自然遺産事業

109万円

早良南部の豊かな自然と貴重な生態系を育む脊振山系を舞台に、背振少年自然の家等と連携し、脊振山系の自然を次世代に伝えるためのクリーンアップ登山や道標の整備などを展開していきます。



## 西区

### 地域自主防災力の充実・強化

197万円

校区の防災計画の見直しや防災訓練の実施を支援するとともに、校区の自主防災担当者を対象に研修会や連絡会を開催し、防災に関する知識の普及を図ります。



### 「超高齢化を支える西区サミット・わがまちサミット」の開催

91万円

高齢者が安心して自分らしく暮らし続けるための取組みを、“オール西区”で共有する「西区サミット」、認知症や在宅介護について学ぶ「わがまちサミット」を開催します。



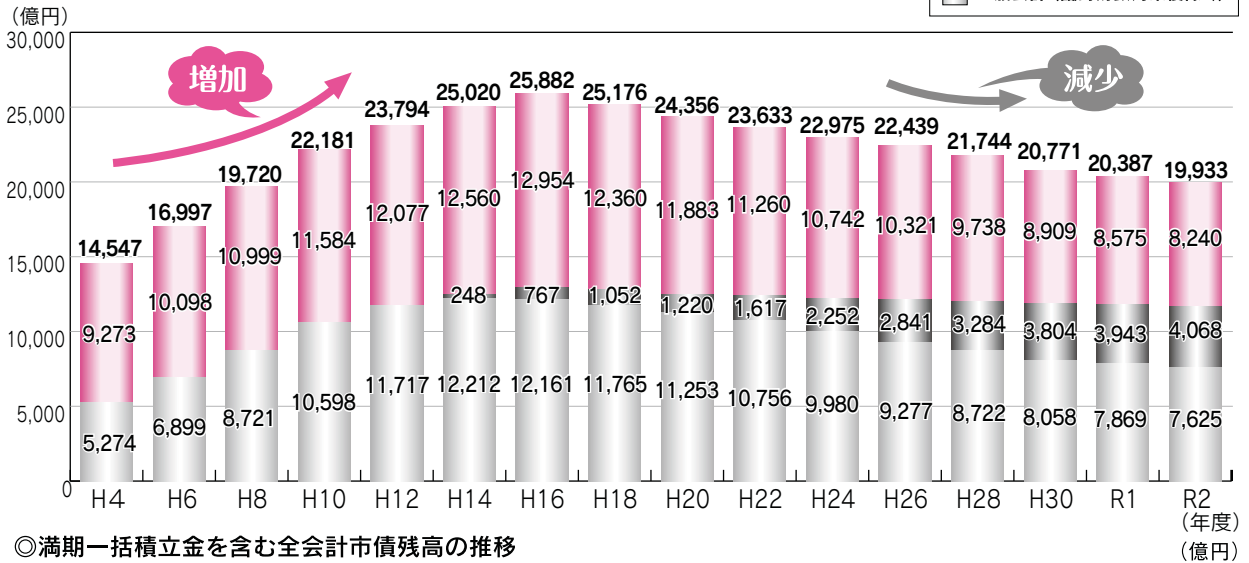
# ② 福岡市の財政状況はどんなの？

## ●借金(市債)はいくらあるの？

市の借金※は、およそ 1 兆 9,933 億円。

市債残高※は、最大時の平成 16 年度末には 2 兆 5,000 億円以上でしたが、その後、毎年、新たに発行する市債の額を抑制することなどにより、着実に減ってきています。令和 2 年度末には 1 兆 9,933 億円程度と、24 年ぶりに 2 兆円を下回る見込みです。

■市債残高の推移 ※満期一括積立金を除いた残高  
(全会計 ～H30:決算額 R1:最終予算額 R2:当初予算額)



◎満期一括積立金を含む全会計市債残高の推移 (億円)

年度	H4	H6	H8	H10	H12	H14	H16	H18	H20	H22	H24	H26	H28	H30	R1	R2
市債残高	14,547	16,997	19,730	22,285	24,229	25,889	27,092	26,333	25,500	24,934	24,508	24,098	23,436	22,671	22,492	22,118

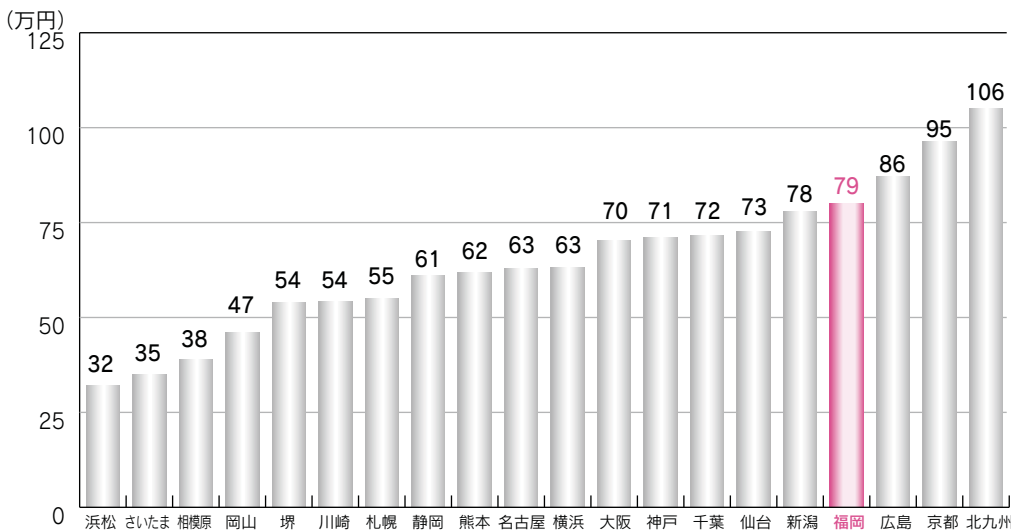
## ●他の政令指定都市と比べるとどうなの？

市民一人あたりの市債残高※は、約 79 万円。

普通会計ベースの市債残高※は、政令指定都市の中でも高い水準にあり、市民一人あたりに換算すると 4 番目に多くなっています。

※普通会計(各団体間の適切な比較や統一的な把握ができるよう、全国統一的な基準により用いられている会計区分)ベースの残高

■市民一人あたり市債残高の比較 (H30: 決算額、普通会計)



■市債残高の比較 (H30: 決算額、普通会計) (億円)

1	横浜	23,790
2	大阪	19,063
3	名古屋	14,441
4	京都	13,447
5	福岡	12,110
6	札幌	11,260
7	仙台	10,756
8	新潟	10,321
9	福岡	79
10	広島	86
11	京都	95
12	北九州	106
13	堺	4,496
14	静岡	4,289
15	岡山	3,290
16	相模原	2,699
17	浜松	2,569

※平成31年3月31日現在の登録人口(住民基本台帳登録人口)

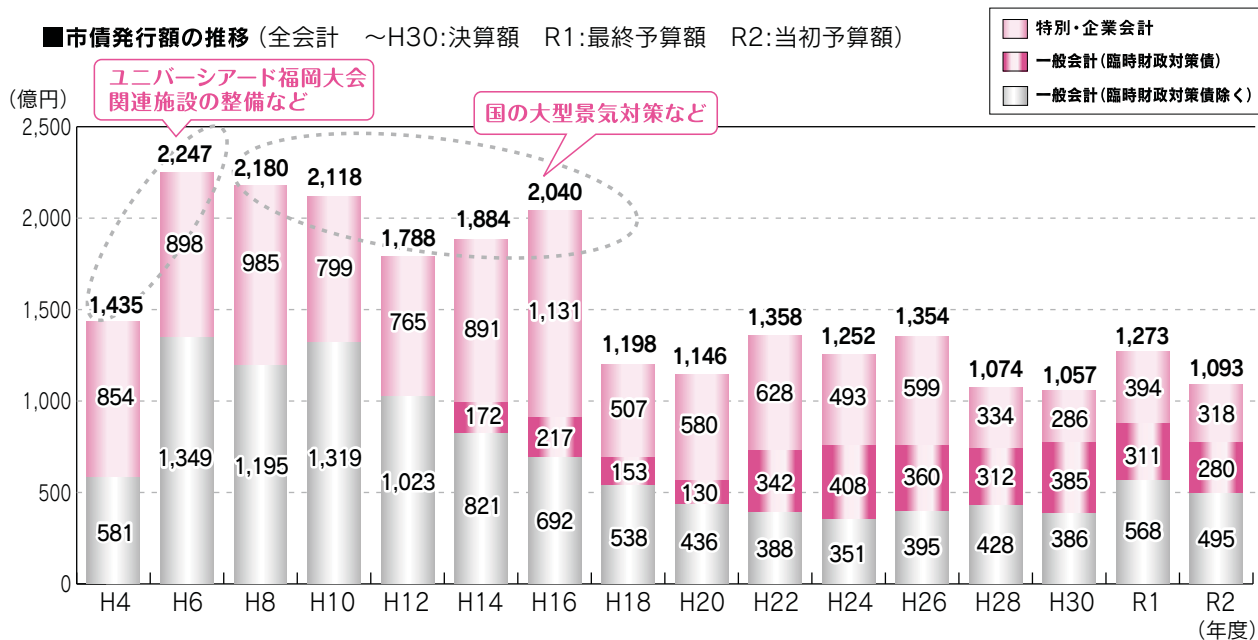
## ●なぜ借金が増えたの？

### 下水道や道路、地下鉄などの整備を積極的に行ったため、市債残高が増加。

福岡市では、国の景気対策とも連動し、立ち遅れていた都市基盤・生活基盤(道路・下水道・文化・スポーツ施設等)の整備を、市債を活用して積極的に推進してきました。

市民生活向上に寄与する社会資本整備が飛躍的に向上した反面、市債残高は急激に増加しました。

■市債発行額の推移(全会計 ～H30:決算額 R1:最終予算額 R2:当初予算額)



■市の社会資本の整備水準

	平成4年度		平成30年度	
	数値	順位※注1	数値	順位※注2
都市計画道路の整備率	41.2%	12位	83.9%	5位
一人あたりの公園緑地面積	7.65㎡/人	4位	8.5㎡/人	9位
下水道普及率(人口普及率)	93.2%	6位	99.7%	5位

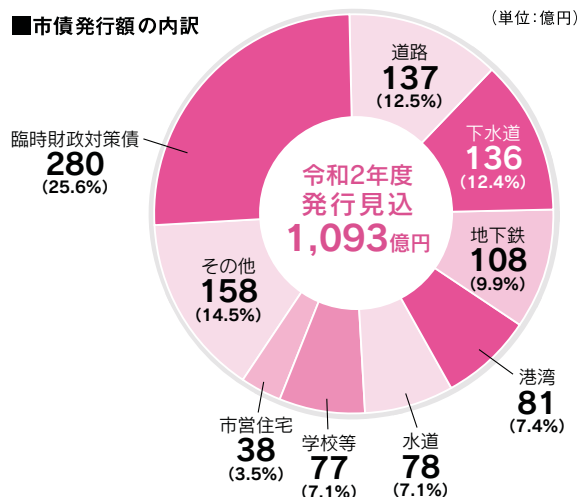
※注1: 平成4年度当時の政令指定都市12都市中の順位。(東京都(区部)を除く)  
 ※注2: 平成30年度当時の政令指定都市20都市中の順位。(東京都(区部)を除く)

## ●借金(市債)は何に使っているの？

### 主に下水道や道路など、将来世代の市民も使う公共施設をつくるために使用。

借金(市債)は、主に何十年の長期にわたって使用する公共施設をつくるための財源となっています。その理由は、下水道や道路などの長期にわたって使用する公共施設については、施設をつくる年の市民だけで全ての建設費用を負担するのではなく、施設を使用して便益を受ける将来世代の市民にも負担してもらうことが公平だと考えられるためです。

■市債発行額の内訳



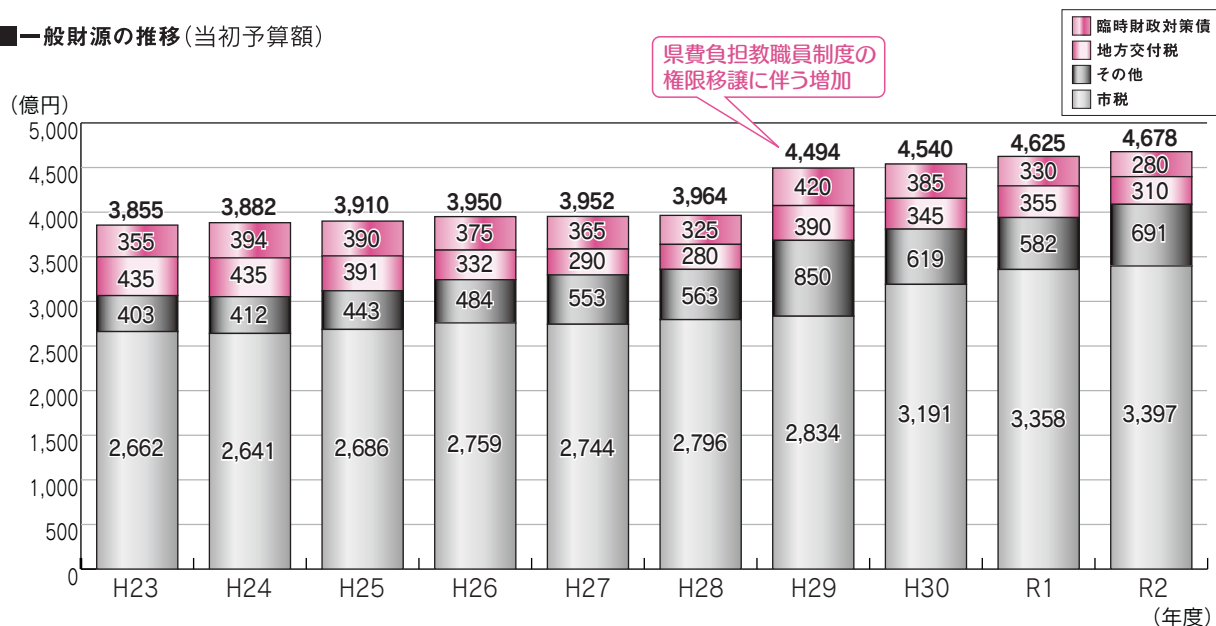
## ●収入や支出はどうなってるの？

### 収入

#### 一般財源は微増の傾向。

市税収入は、個人市民税・固定資産税の増や宿泊税の課税開始などにより、過去最大の規模となりました。しかし、市税収入の増加等に伴い、実質的な地方交付税が減少傾向にあるため、一般財源全体としては微増の傾向にあります。

#### ■一般財源の推移(当初予算額)

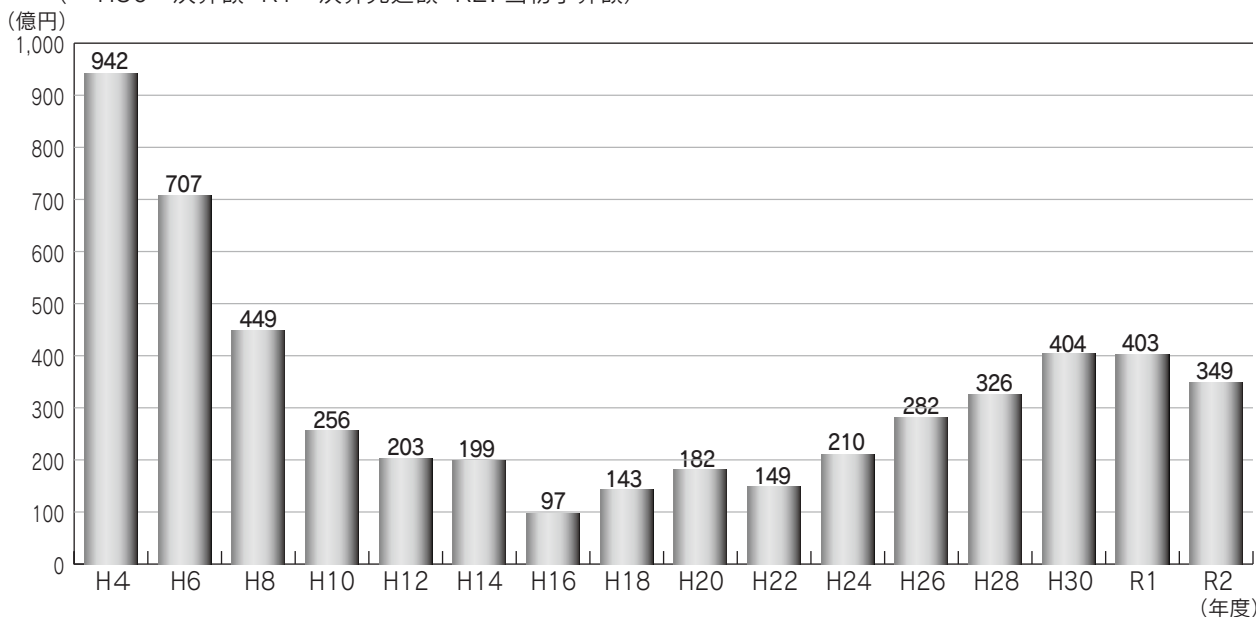


#### 財政調整用基金(貯金)の残高は、近年300億円超で推移。

国の三位一体改革に伴う歳入の大幅減等により、H16年度には100億円を割り込みました。しかし、近年は、財源に余裕がある場合や決算の剰余金が発生した場合に積み立てを行い、残高は300億円を超える水準にまで回復しています。

#### ■財政調整用基金残高の推移

(～H30：決算額 R1：決算見込額 R2：当初予算額)



#### 用語の解説

##### 財政調整用基金

年度間の財源の不均衡等を調整するための基金です。財源に余裕のある場合や、決算剰余金が発生した場合に積み立てを行います。経済情勢の変動により、財源が不足する場合や災害発生などにより緊急に支出が必要な場合等に取り崩します。

# 支出

## 収入が大幅に伸びない中、義務的経費の支出が高止まり、財政が硬直化。

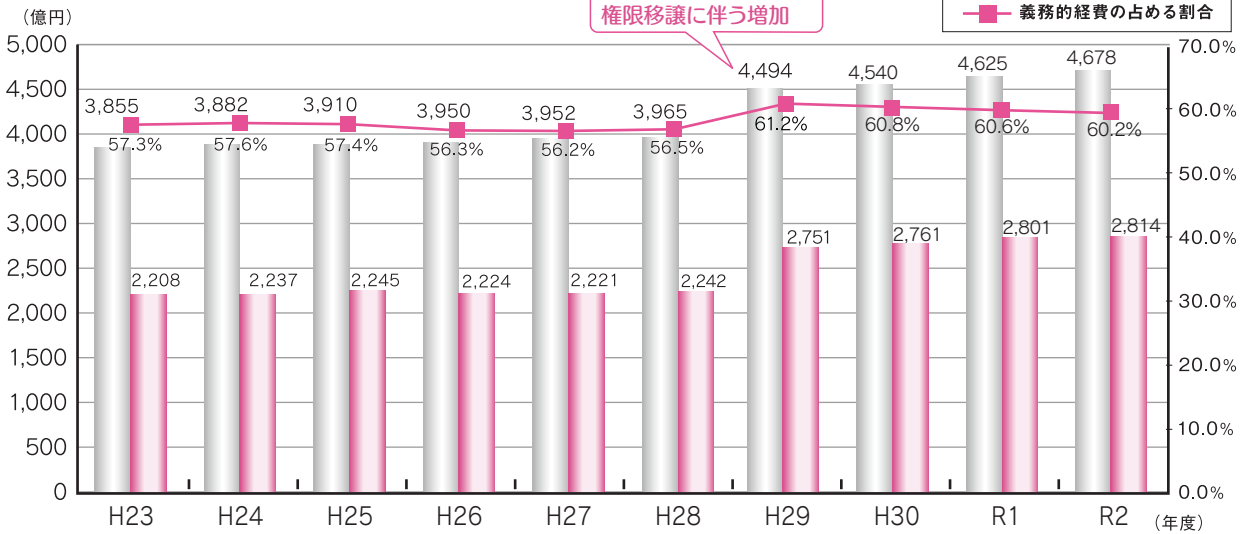
福祉や医療などの固定的な経費(義務的経費)が増加し、新しい事業への投資に使えるお金が少なくなっています。

### 用語の解説

#### 義務的経費

歳出において、人件費、扶助費(生活保護費などの医療・福祉経費)、公債費(借金の返済)を合わせた毎年必要な固定的な経費です。

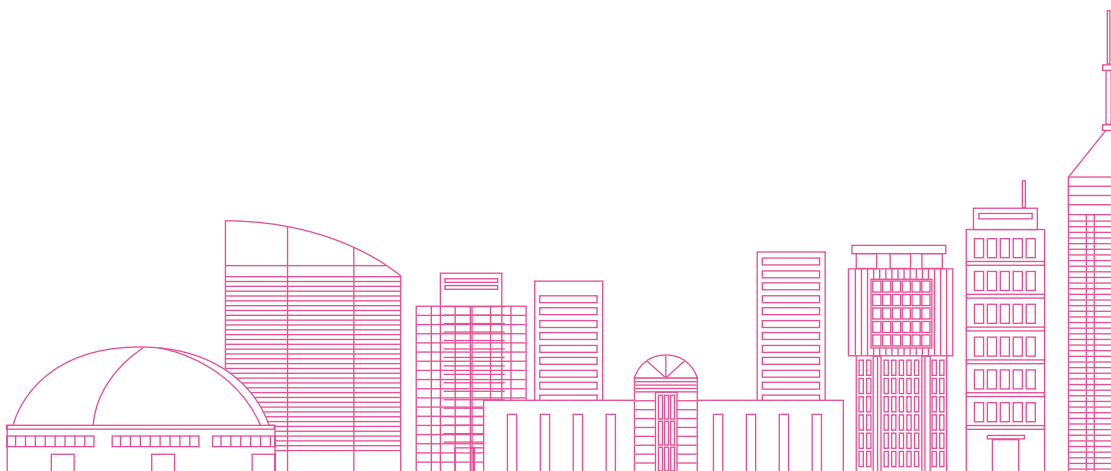
### ■歳入のうち一般財源に占める義務的経費の割合(当初予算額)



## ●福岡市の財政状況のまとめ

### 福岡市の財政状況の特徴は、

- 市債残高(借金)は確実に減少しつつありますが、他の政令市と比較して依然として高い水準にあります。
- 自由に使うことのできる一般財源は、市税収入の増加等に伴い微増の傾向にありますが、教職員に係る人件費が大幅に増加するとともに、扶助費などの義務的経費が年々増加傾向にあります。福岡市の財政は依然として楽観できる状況にはありませんが、将来の世代に過大な負担を残さないためにも、健全な財政運営の取組みを着実に進めていく必要があります。



# 3 福岡市の財政をどうやりくりしていくの？

※今後の財政運営の指針となる『財政運営プラン(平成29年6月策定)』より抜粋

## ●財政の現状と見通しは？

### <主な社会情勢の変化>

- 老年人口（65歳以上）が増加し、生産年齢人口の割合が低下  
特に、75歳以上（後期高齢者）は10年間で1.5倍に
- 保育所等入所児童、生活保護世帯、障がいのある方が引き続き増加していく見込み
- 昭和40～50年代に整備した公共施設等の老朽化の進行



### <本市財政の見通し>

- 伸び続ける社会保障関係費
  - ・ 医療や介護保険への公費負担の増加
  - ・ 福祉サービスに必要な公費負担の増加（生活保護、児童福祉、障がい福祉等）
- 公共施設等の改修・修繕に係る経費の増加
- 高止まりを続ける公債費
- 大幅な伸びが期待できない一般財源

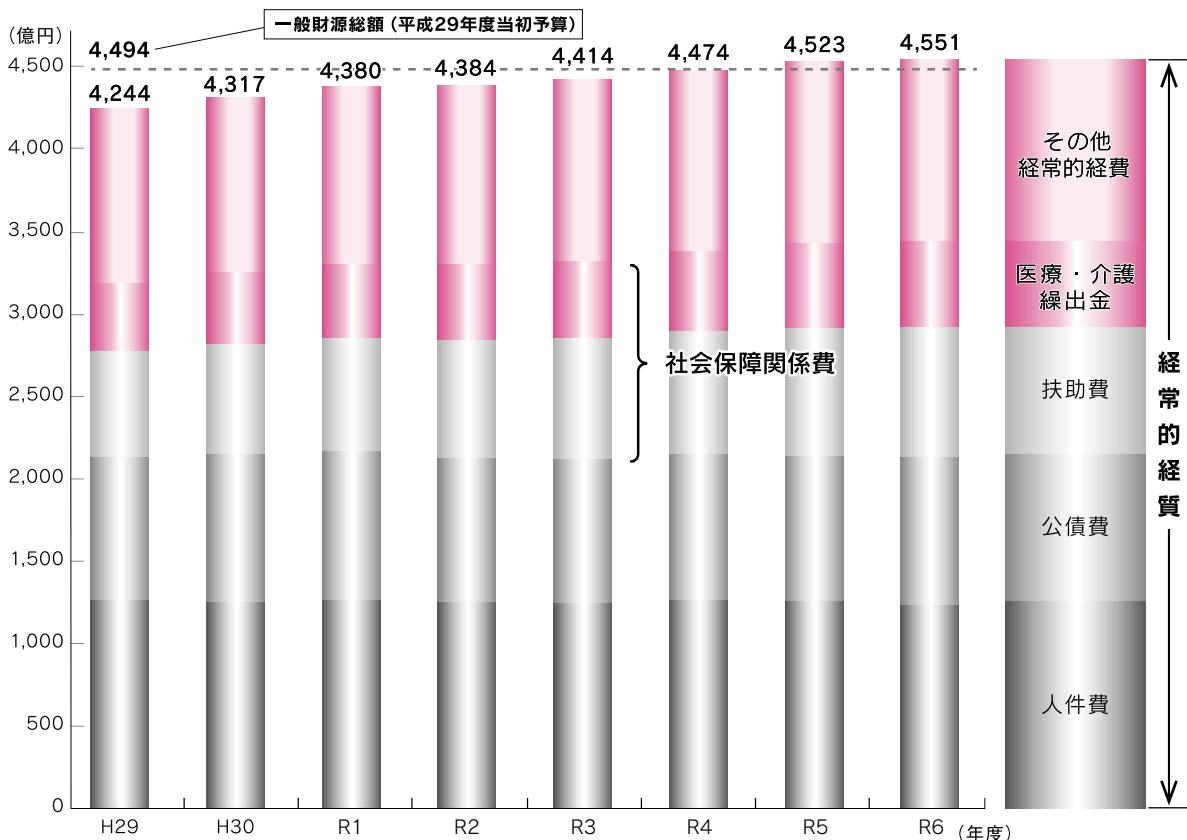
※一般財源：市税収入など、用途が特定されておらず、市の裁量で使用することができる財源

本市財政は、依然として楽観できる状況にない



将来にわたり持続可能な財政運営を目指した  
取組みを進めていく必要がある

■ 経常的経費に要する一般財源の見通し(試算)～平成29年3月時点の制度等を前提とした姿～





## ●将来にわたり持続可能な財政運営に向けた取組みの方向性は？

(基本的な方針)

- 本市財政の見通しを踏まえ、市民生活に必要な行政サービスを安定的に提供しつつ、重要施策の推進や新たな課題に対応するために必要な財源を確保できるよう、政策推進プランに基づき投資の選択と集中を図るとともに、歳入の積極的な確保や行政運営の効率化、既存事業の組替えなどの不断の改善に取り組みます。
- また、中長期的に、「生活の質の向上」と「都市の成長」のために必要な施策事業の推進により税源の涵養を図りつつ、超高齢社会に対応する持続可能な仕組みづくりやアセットマネジメントの推進、市債残高の縮減に向けた市債発行の抑制などにより、将来にわたり持続可能な財政運営に取り組みます。

### (主な取組み)

#### 取組1 歳入の積極的な確保

- ①収入・収納率の向上等
- ②市有財産の有効活用等による税外収入の確保

#### 取組2 行政運営の効率化

- ①人件費の抑制
- ②企業会計・特別会計における見直し
- ③外郭団体等の見直し

#### 取組3 役割分担、関与の見直し

- ①ガイドラインに沿った補助金の適切な運用
- ②国・県との財政負担の適正化
- ③規制緩和による民間活力の誘導

#### 取組4 行政サービスのあり方の転換

- ①個人給付施策の再構築
- ②受益者負担のあり方の検討

#### 取組5 公共施設等の見直し

- ①施設の維持管理コストの縮減
- ②公共施設等の老朽化への適切な対応
- ③施設の必要性・あり方を見直し

#### 取組6 市債発行の抑制、市債残高の縮減

- ①長期的な市債残高の縮減に向けた発行抑制

## ●将来にわたり持続可能な財政運営に向けた令和2年度における取組みは？

### (1)財源の確保

令和2年度の予算編成においては、「歳入の積極的確保」や「行政運営の効率化」などの取組みを進めることで、約50億円の財源を確保しました。

令和2年度財源確保額(一般財源ベース、百万円):5,046

#### 1 行政運営の効率化

1,182

①企業会計・特別会計における見直し .....	692
・モーターボート競走事業収益の確保による一般会計への繰出金の増	500
	など
②外郭団体等の見直し .....	343
・水産加工公社の解散	212
・学校給食公社委託料の見直し	131
③その他行政運営の効率化 .....	147
・ゴミ収集業務委託に係る競争性の拡大	71
・消防自動車更新に係る仕様の見直し	62
	など

#### 2 歳入の積極的な確保

3,504

①収入・収納率等の向上 .....	2,144
・宿泊税の課税開始	1,799
・市税収入率の向上 [R1 98.60% → R2 98.68%]	275
	など
②市有財産の有効活用 等 .....	1,360
・未利用地等の売却・貸付	1,212
	など

#### 3 その他公共施設の見直し 等

360

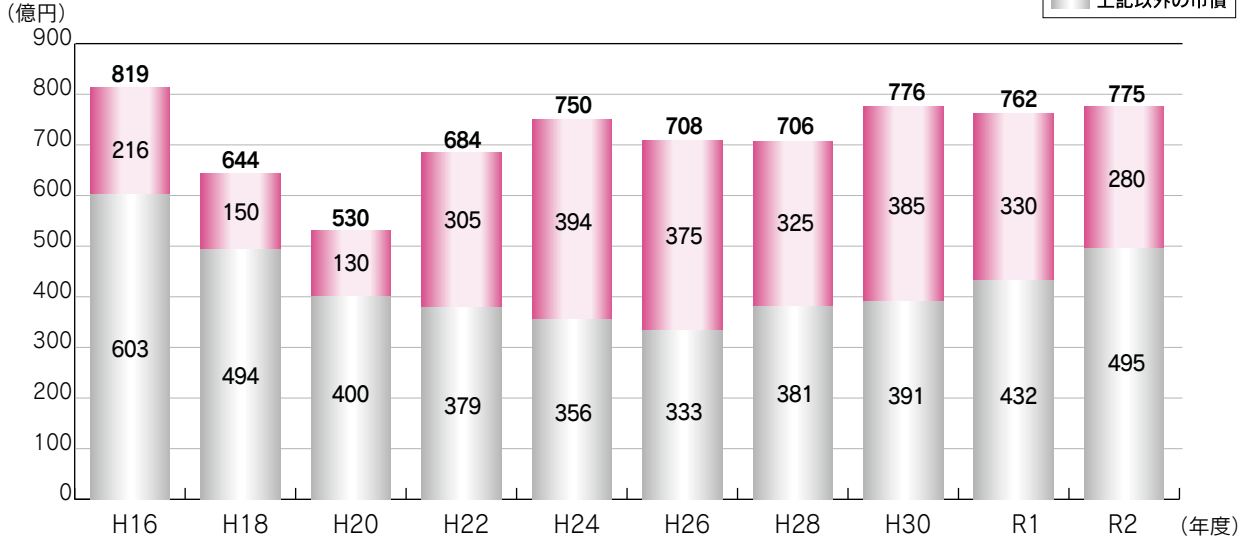
・青果市場の施設使用料の段階的改定	45
・道路占用料の改定	33
	など



## (2)市債発行額の抑制

令和2年度の一般会計の市債発行額は775億円で、スポーツ施設改修等に係る総務債の増加(+21億円)等により、令和元年度当初予算額から13億円増加しました。

■市債発行額の推移(一般会計・当初予算額)



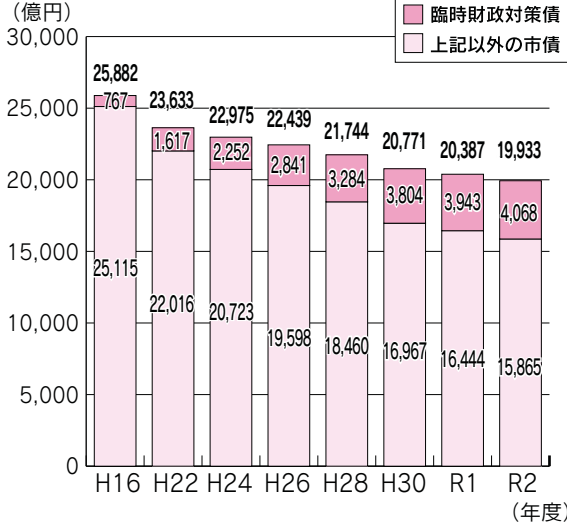
令和2年度末の満期一括積立金(※1)を除く全会計市債残高見込額から国が償還額を全額地方交付税措置する臨時財政対策債(※2)の残高見込額を除いた額は、ピーク時の平成16年度末より9,250億円縮減しています。

また、その市民一人あたり市債残高見込額は、平成16年度末から約83万円減少し約102万円となります。

■市債残高の推移(全会計)

(~H30: 決算額 R1: 最終予算額 R2: 当初予算額)

※満期一括積立金を除く



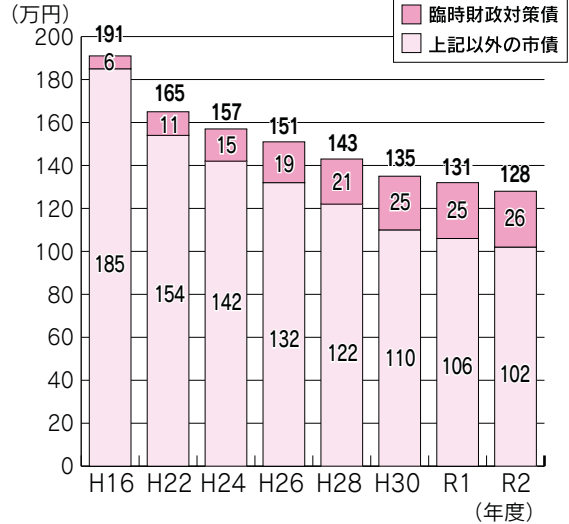
◎満期一括積立金を含む全会計市債残高の推移

年度	H16	H22	H24	H26	H28	H30	R1	R2
(億円)	27,092	24,934	24,508	24,098	23,436	22,671	22,492	22,118

■市民一人あたり市債残高の推移(全会計)

(~H30: 決算額 R1: 最終予算額 R2: 当初予算額)

※満期一括積立金を除く



◎市民一人あたり市債残高の推移(満期一括積立金を含む全会計)

年度	H16	H22	H24	H26	H28	H30	R1	R2
(万円)	200	174	168	162	155	147	145	142

H16 ~ H30 は当該年度末日現在の登録人口、R1、R2 は R1.12 月末現在の登録人口

※1 満期一括償還のために既に償還財源を市債管理基金に積み立てたもの。

※2 臨時財政対策債は、国が地方交付税として交付する代わりに、地方に自ら市債を発行させ財源を調達するもの。その償還(返済)にあたっては、後年度に国から全額地方交付税で措置されます。

# 宝くじを購入される際は、 ぜひ福岡県内でお求めください。



宝くじの収益金は、市民の身近な  
公共事業等に有効活用されています。

## 宝くじについてのお問い合わせ

福岡市財政局財政部総務資金課

電話：092-711-4163

Eメール：somushikin.FB@city.fukuoka.lg.jp

## 財政・予算に関する資料

●福岡市ホームページ <http://www.city.fukuoka.lg.jp>

- ▶ 財政状況については 市政全般→予算・決算・市債・寄付等→「決算」あるいは「財政の概要」
- ▶ 予算については 市政全般→予算・決算・市債・寄付等→「予算」

## 財政・予算についてのお問い合わせ

●福岡市財政局財政部財政調整課

電話：092-711-4166

ファックス：092-733-5586

Eメール：zaisei.FB@city.fukuoka.lg.jp

〒810-8620 福岡市中央区天神1-8-1

ご意見やご提案をお寄せください。